

放置してはいけない

頸椎疾患について

葛城病院 整形外科 中矢良治

頸椎(首の骨)の主な役割は人の頭部を支える事と、頸椎の中を通る脊髄神経(頸髄)を保護する事です。長年、頭部を支えていると頸椎に年齢的な変化が起こり、それに伴う疾患が起こってきます。頸椎は第1から第7頸椎で構成されており、各頸椎の間には椎間板と呼ばれるクッションがあります。また、頸椎の中には脊髄の通り道である脊柱管があり、脊髄は各頸椎の間から神経の枝(神経根)を左右に8本ずつ出していきます。頸椎加齢性変化が進行すると、骨棘(骨のとげ)や椎間板の突出、靭帯の肥厚が生じ、頸部の痛み、脊髄や神経根が障害を受ける原因となります。

その神経根の支配領域に沿った(多くは片側)の上肢のしびれや痛み、筋力低下などが見られます。脊髄が障害を受けると、手指の巧敏運動障害(指の細かな動きができない事)や歩行障害(つまずきやすい、脱力)、膀胱直腸障害(頻尿、失禁など)が生じます。

神経根の症状はしばらく放置していても自然に改善してくる事もあり、鎮痛薬などの投与で2~3カ月で改善する事も多くあります。しかし、脊髄の症状は多くの場合、手術をしない限り症状の改善は望めません。症状が悪化してくれば、最終的には四肢の麻痺、自己での排尿排便が困難な状態になります。また、転倒などを契機に急激に脊髄の障害がおこり、一瞬にして重い症状が出ることもあります。

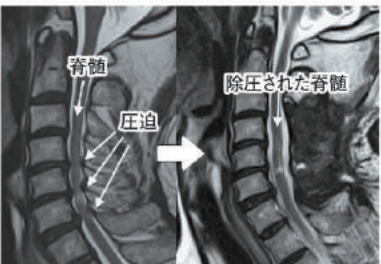
歩行障害、膀胱直腸障害などが後遺症として残存する事があります。症状が軽いうちに手術をすれば、症状の改善も良いですが、症状が重篤になってから手術をしても大きな改善は見込めません。

以上の事から、脊髄の症状がある場合にはそのまま放置することは非常に危険です。脊髄が障害を受けている場合、症状が軽くても手術をしておく方が良

い場合もあります。長引く首の痛み、手足のしびれ・痛み・運動麻痺、歩行障害、膀胱直腸障害症状(尿漏れ・頻尿)などの症状がある場合は自己判断せず、早めに整形外科を受診し、必ず専門医の判断を仰ぎましょう。またマッサージなどによる頸部への外力は、時に脊髄の障害を悪化させることがありますので要注意です。

頸椎での神経の障害を大きく分けると神経根の障害と脊髄の障害に分けられます。神経根が障害を受けると、

脊髄の障害は手術をしなくても完全に元に戻りません。ある程度の症状の改善は期待できますが筋力低下しびれ、



手術前の圧迫された脊髄(図左)と、脊柱管を広げる頸椎後方除圧手術により脊髄の通り道が広がった頸椎(図右)

脊髄の障害は手術をしなくても完全に元に戻りません。ある程度の症状の改善は期待できますが筋力低下しびれ、

~脊椎外来診療のご案内~

◎中矢良治医師

※診療予約がある、もしくは中矢医師宛の紹介状持参の患者様のみ受付となります。

▷木曜(夜診)、土曜(朝診※第2・4週)

- 朝診… 9:00~11:30(受付 8:00~)
- 夜診… 17:00~19:30(受付16:00~)



医療法人大植会 葛城病院

TEL.072-422-9909(代) 岸和田市土生町2-33-1

【外来診療時間】 9:00~11:30/13:00~16:00/17:00~19:30 ※科目により時間が異なります

【診療科目】 ●内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●血液内科 ●糖尿病内科 ●外科 ●心臓血管外科 ●消化器外科 ●肛門外科 ●整形外科 ●脳神経外科 ●形成外科 ●リウマチ科 ●皮膚科 ●泌尿器科 ●眼科 ●リハビリテーション科 ●放射線科
【センター】 ●下級診療治療センター ●健診センター ●人工関節センター ●脊椎外科センター

市民健康講座

入場無料

「整形外科シリーズ」を開講します

時間…各日 14:30~16:00

- 第29回「腰椎疾患の手術治療について」
6月3日(土) 理事長 整形外科 大植 睦
- 第30回「頸椎疾患について」
6月24日(土) 整形外科 中矢良治
- 第31回「人工股関節置換術ってどんな手術?」
7月15日(土) 院長 整形外科 中島幹雄
- 第32回「膝関節温存手術について」
8月26日(土) 整形外科 小田周平

☆介護相談コーナー☆

各回終了後にケアマネジャーが無料で相談をお受けします。ご自身の身の回りや、ご家族の介護などで心配事はありますか?

場所:葛城病院 2階研修室
お申込み・お問合せは、地域医療連携室まで